

グローバル中小型株式ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第5期(決算日2025年6月17日)

作成対象期間(2024年6月18日～2025年6月17日)

第5期末(2025年6月17日)	
基準価額	11,073円
純資産総額	10百万円
第5期	
騰落率	△ 6.2%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒ファンドの詳細ページで閲覧およびダウンロード

- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル中小型株式ファンド」は、このたび、第5期の決算を行いました。

当ファンドは、RMグローバル中小型株式マザーファンドを通じて、日本を含む先進国および新興国の中小型株式への投資を行い、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

当ファンドにおけるSDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率はマンスリーレポートに記載しています。下記URLをご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120018/>

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル：0120-223351

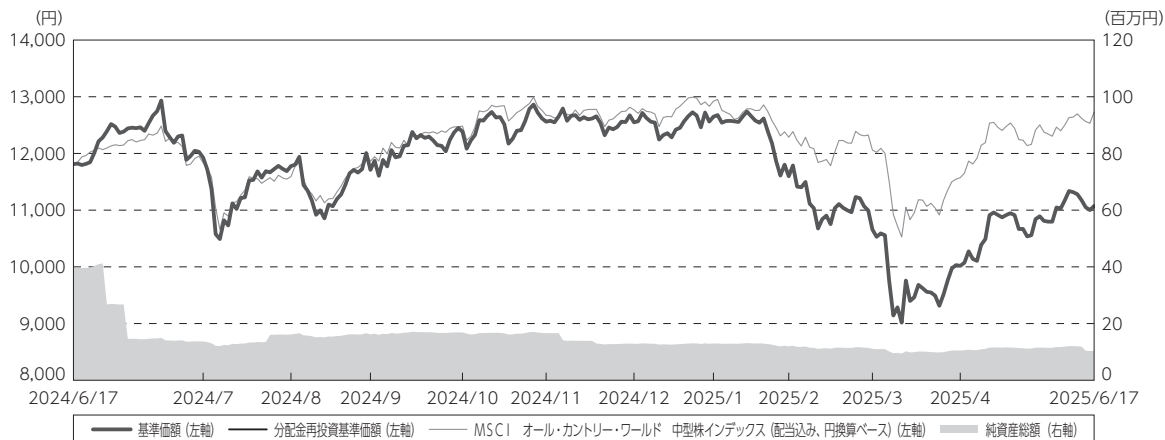
(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年6月18日～2025年6月17日)



期 首：11,811円

期 末：11,073円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 6.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は、期首(2024年6月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
- (注) MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式のうち中型株を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

米国の関税政策の影響が懸念されたことや、保有する日本の小型株が相対的に低調であったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2024年6月18日～2025年6月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	194	1.650	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(95)	(0.809)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(95)	(0.809)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	13	0.109	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(13)	(0.109)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.018	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.018)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	23	0.192	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(22)	(0.185)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	232	1.969	
期中の平均基準価額は、11,763円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

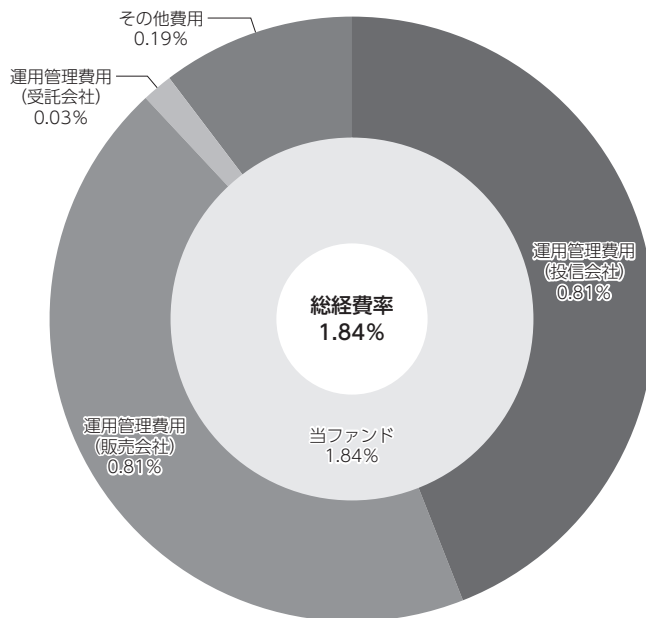
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

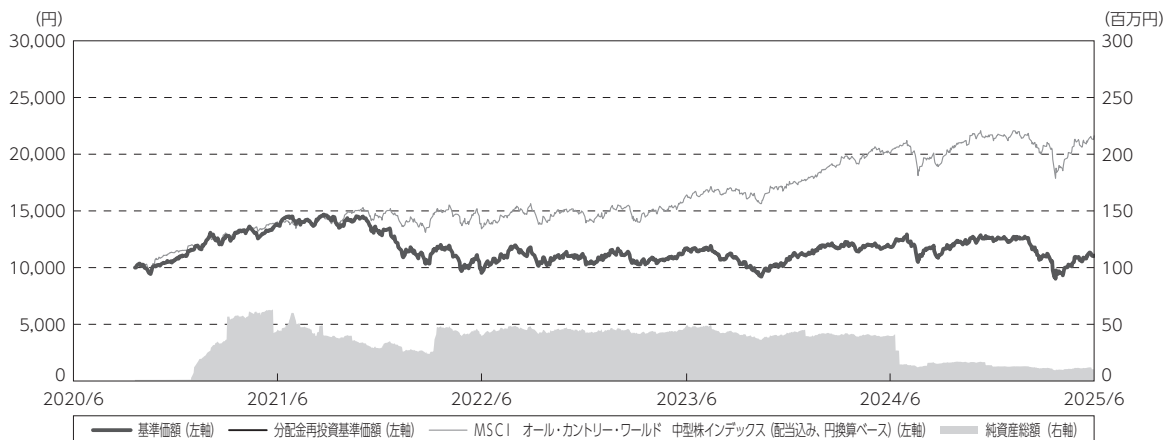
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年6月17日～2025年6月17日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 当ファンドの設定日は2020年10月6日です。

	2020年10月6日 設定日	2021年6月17日 決算日	2022年6月17日 決算日	2023年6月19日 決算日	2024年6月17日 決算日	2025年6月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	13,752	9,528	11,711	11,811	11,073
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	37.5	△ 30.7	22.9	0.9	△ 6.2
MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)騰落率 (%)	—	40.3	△ 4.4	22.3	22.3	7.8
純資産総額 (百万円)	1	45	39	49	39	10

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年6月17日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。

参考指数は当ファンドの投資対象市場全般の動向を示す指標として参照するものです。参考指数を構成する銘柄に投資対象を制限することを目的とするものではありません。

投資環境

(2024年6月18日～2025年6月17日)

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期初は、米国の景気後退懸念により一時的に不安定な動きとなりましたが、その後は買い優勢となりました。期中では、トランプ氏が米大統領選挙で再選したことを受け、法人税の引き下げなどへの期待から米国株への買いが進んだほか、ECB（欧州中央銀行）による利下げ継続などが支えとなり、更に上昇しました。期後半では、米国の通商政策などを巡って株価が大きく上下するなど、一進一退の相場環境となりましたが、その後相互関税の上乗せ部分を一時停止したことなどが好感され、買い戻しが優勢となりました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円高となりました。

米ドルに対して、期初は、日米の金融政策の違いから一時円安が進みましたが、日銀による追加利上げの決定や、米国の景気後退懸念に伴うFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測の強まりを背景に、円高米ドル安が進行しました。期中は、想定より底堅い米景気指標などを受け、FRBによる利下げペース鈍化が意識され円安米ドル高となりました。期末にかけては、米国の景気悪化懸念や、トランプ政権のパウエルFRB議長に対する解任発言などを受けて、円高米ドル安が進行しました。

ユーロに対して、期前半は、ECBが連続で利下げを行った一方、日銀は利上げを実施し、円高ユーロ安が進行しました。期後半は、ECBによる利下げ打ち止めが意識される一方で、日銀が追加利上げを見送ったことにより、円安ユーロ高に転じました。

新興国地域において、日銀は利上げを実施した一方、中国では期を通して緩和的な金融政策を維持したことにより、円高元安の動きが続きました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年6月18日～2025年6月17日)

当ファンド

RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバル中小型株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期末における、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は98.3%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■アルナイラム・ファーマシューティカルズ（米国）

核酸医薬の一種であるRNA干渉薬の分野でのリーディングカンパニーです。体内で遺伝子から異常なタンパク質が合成されるプロセスを阻害することで様々な疾患の治療を目指しています。ドラッグデリバリーシステム（薬物を体内の特定部位に届ける技術）の確立で、将来的には生活習慣病の治療への貢献も期待されています。当期は開発中の心臓治療薬の治験結果が良好で、実用化への期待が高まったことから株価は上昇しました。

■クラウドフレア（米国）

世界中に構築されたサーバーネットワークによりインターネットの高速化を実現しているテクノロジー企業で、近年はサイバーセキュリティ分野でも業績を拡大しています。グローバル化の進展や働き方の変化を受けて、高速で安全なネットワークインフラの維持が求められるなか、同社はソフトウェアを使って仮想的にインフラを構築することで、柔軟に対応できる体制を整えており、持続的な成長が見込まれています。当期は大幅増収が続くなかで成長期待が一段と高まり、株価は堅調に推移しました。

<マイナス要因>

■レックスサイト（米国）

白内障の手術後に使用する眼内レンズを製造・販売している医療技術企業です。同社が開発した眼内レンズは紫外線を当てることにより事後的に度数の調節が可能のため、手術後に必要な視力調整をレンズで行える点を評価しています。売り上げの拡大は続いているものの、足元競合他社の台頭で成長期待の低下懸念から、一旦売却しました。

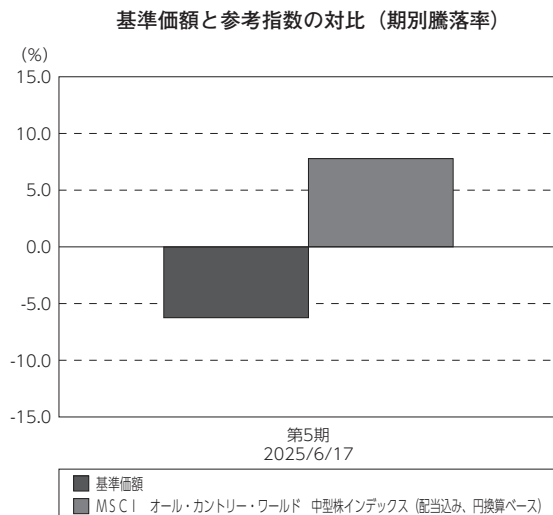
■ソラコム（日本）

IoTプラットフォームをグローバルで提供しているテクノロジー企業です。IoTは住宅や自動車、家電、電子機器などさまざまなモノをインターネットでサーバーやクラウドに接続し、相互の情報交換を可能にする仕組みです。同社はIoTを活用した事業・サービスの展開に必要な機能をワンストップで提供することで、企業の成長機会獲得や生産性改善に貢献しています。中期的な成長性に変化は無いものの、案件規模の拡大で受注から納品までの時間が長期化し、業績の鈍化が懸念されたことから、一旦売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年6月18日～2025年6月17日)

当ファンドはベンチマークを設けておりません。グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

(2024年6月18日～2025年6月17日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第5期
	2024年6月18日～ 2025年6月17日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,297

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル中小型株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とするとともに、需要サイドのニーズと、社会の構造変化やそこから生じる「社会的な課題」に着目し、社会的な課題とSDGsとの関連性にフォーカスすることにより、ユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれるさまざまな有望市場や商品・サービス、ならびに関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式市場は米国の関税政策が最終的には想定ほど厳しいものにはならないとの楽観論が広がったことで落ち着きを取り戻していますが、同関税政策に対する不透明感は払拭されておらず、引き続き不安定な動きが予想されます。そうしたなか、当ファンドでは中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にもフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うとともに、ポートフォリオ全体のリスクバランスにも一段と留意しつつ、安定したリターンを獲得できるよう努めてまいります。

お知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

<当ファンドが投資対象とするRMグローバル中小型株式マザーファンドは以下の約款変更を行いました。>

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

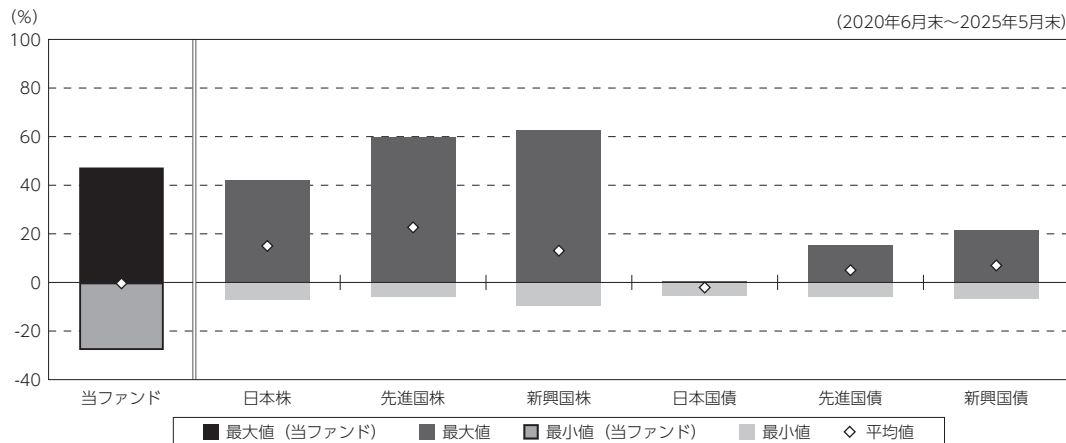
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年10月6日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の中小型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル中小型株式ファンド	・RMグローバル中小型株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
運用方法	<p>①主として、マザーファンド受益証券への投資を通じ、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている中小型株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。</p> <p>*上場予定、店頭登録予定を含みます。</p> <p>*DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。</p> <p>②社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	47.3	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 27.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	△ 0.4	15.0	22.7	13.1	△ 2.1	5.0	7.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年6月から2025年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2021年10月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年6月17日現在)

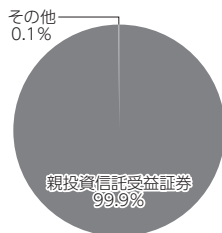
○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
RMグローバル中小型株式マザーファンド	99.9%
組入銘柄数	1銘柄

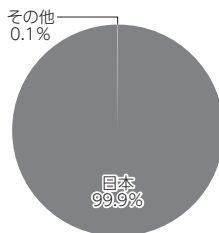
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

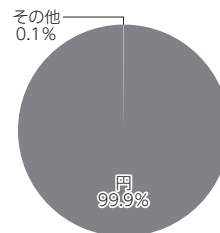
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

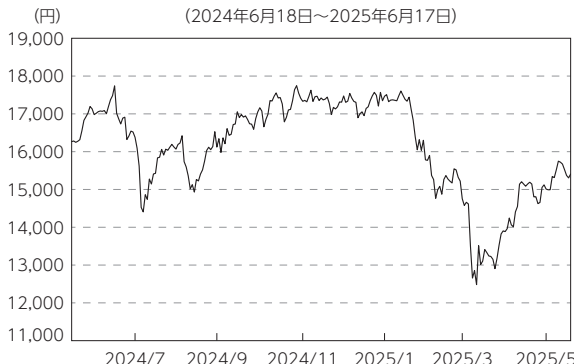
項目	第5期末
	2025年6月17日
純資産総額	10,378,327円
受益権総口数	9,372,251口
1万口当たり基準価額	11,073円

(注) 期中における追加設定元本額は3,857,818円、同解約元本額は28,067,555円です。

組入上位ファンドの概要

R Mグローバル中小型株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年6月18日～2025年6月17日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	19 (19)	0.118 (0.118)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	3 (3)	0.021 (0.021)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	30 (29) (0)	0.182 (0.181) (0.001)
合計	52	0.321

期中の平均基準価額は、16,229円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

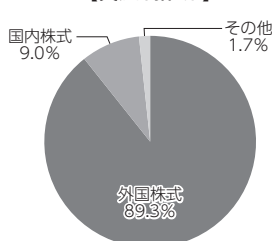
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	INSULET CORP	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	4.8%
2	CLOUDFLARE INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.7%
3	MP MATERIALS CORP	素材	米ドル	アメリカ	3.2%
4	TOKYO BASE	小売業	円	日本	3.1%
5	NOVONESIS (NOVOZYMES) B	素材	デンマーククローネ	デンマーク	3.1%
6	PROCEPT BIOROBOTICS CORP	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.1%
7	ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	消費者サービス	米ドル	リベリア	3.0%
8	MASTEC INC	資本財	米ドル	アメリカ	3.0%
9	DATADOG INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.8%
10	ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	2.8%
	組入銘柄数		48銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

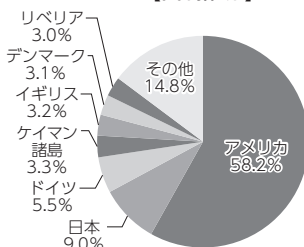
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

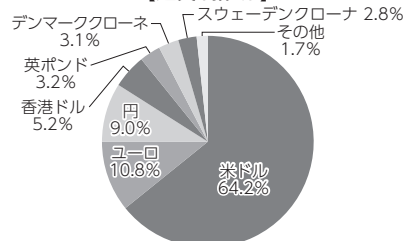
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2025年6月17日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。